

楽しんでます。さくらの茶屋サロンの様子

サロン『さくらの茶屋』では、楽しくお買物した後に足湯や休憩スペースで談話できる環境をつくり、時にはボランティアさんに参加して頂きながら避難者の皆さんの「心のケア」に役立てています。来場する頻度はまちまちですが、皆さん、生き活きとした表情になってきています。仮設、借上げの生活に苦痛を感じ息抜きに来場するそうです。スタッフ、ボランティアさん、共に温かく迎え入れています。生きがい、楽しさを提供し続けていきたいですね。

語りべのボランティアさん
みんな真剣に聞き入りますね。



JICA 海外青年協力隊が現地での報告を



再開を願い福島の復興を願う6人の青年が旅経ちました。



花見山を守る会では海外青年協力隊の皆さんを所外活動で2ヶ月周期で受入れをしています。昨年の秋の3期生が各国での活動をメールで報告して下さいました。うれしい事にNPO花見山を守る会の帽子を現地でかぶってくれています。日本の誇り、約2年間頑張ってきてほしいです。

今年は4地区にわたり農園づくりに挑戦しています！



昨年からの避難者の引きこもり防止、健康促進、雇用促進の為に畑作業に参加していただいています。被災者の方々、ボランティアさん、スタッフにより約6ヘクタールの農場が出来上がりました。トマト畑・スイカ畑・メロン畑・なす、大葉、オクラ、ブルーベリー多種畑と栽培しています。毎日、畑作業部隊が活動しており右の写真のような野菜が成長しています。皆さん畑作業が楽しみと汗を流しては、「気持ちのいい汗かいた〜」「おいしいトマトが出来たない〜(ね)」と日々収穫に格闘しています。

「花見山を守る会」
情報ステーション

震災孤児支援

花見山を守る会で行っている震災孤児支援活動とは、震災で親を亡くした福島県内の21名の子供達を対象に自立までを応援していく活動です。

みなさまからお寄せ頂いた支援金や支援物資を寄贈すること、また直接訪問することで子供達の生活を見守っていくことが主な活動内容です。

新学期に4回目の18名に寄付することができました。今現在も文房具支援ということで、一人一人にみなさまからお寄せ頂いた文房具やプレゼントを寄贈するために順次、訪問中です。

「震災から2013年7月23日(火)時点で528件 11,059,487円の寄付金が寄せられています」

次回、5回目の寄贈は12月のクリスマスに予定しております。引き続き子供たちが成人、社会人となるまで支援を続けていきますので皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

4月26日誕生！してました。さくらちゃん♂

家族が増えました(^)よく食べていたんですよ。花子さん・まさかの初産・でも、動物の本能は素晴らしいものですね。朝、世話役の佐々木がビックリ仰天！感激で号泣！誰が確認したのか勝手な思い込みか女の子！すぐに桜ちゃんと命名！かわいくてかわいくてみんなデレデレでしたよ。しかし、2週間くらいが過ぎ桃太郎ジュニア(み)が発覚！命名さくら君に変更になりました。桃太郎もしっかり父親らしくなりました。2ヶ月経ちましたがやんちゃで山をびよんびよん走り回ってみんなを困らせてます。

お寄せ頂いた支援金は孤児の学業、生活費用へと使わせていただきます。皆様の暖かいご支援、ご協力をいつもありがとうございます。



代表、自ら訪問に伺い子供達と親睦を深めてきました(^)v



現在、桜の植樹の山々を雑草から守るため放牧しています。



無農薬新鮮野菜が手に入る♪ナス、トマト、スイカにメロン



7月に入ってから急に成長が早まり収穫に追われています。皆さんに新鮮野菜を届けています。

ご希望の方には発送致しますので御連絡ください。